

自治体
紹介

尾道市の現状

- ◆人口 126,763人（令和6年9月30日現在）
- ◆行政区域面積 284.89km²
- ◆小学校設置数 24校 ◇中学校設置数 16校
- ◆小学校児童数 5,468人 ◇中学校生徒数 2,853人（令和6年5月1日現在）

①就学援助認定者数の割合 **15.7%**②生活保護受給世帯の児童・生徒数の割合 **0.4%**（令和6年3月1日現在）

「尾道市子どもの生活実態調査」（平成28年度実施）の結果から

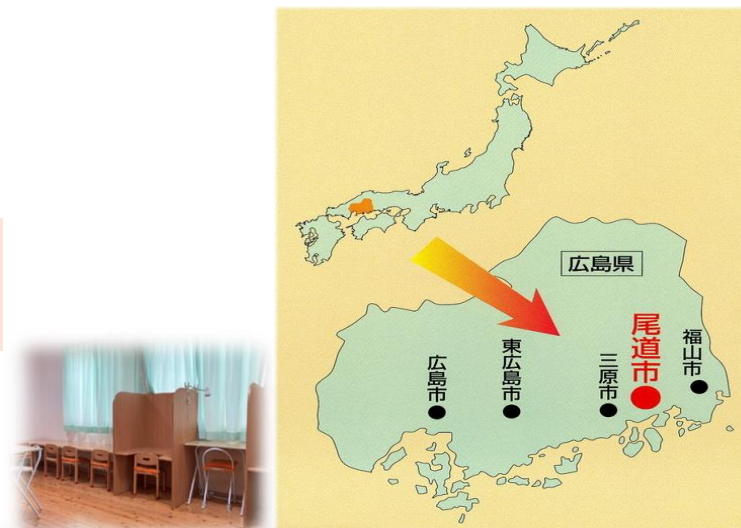
◆**子どもの貧困率：13.7%**◆**母子世帯の子どもの貧困率：69.9%**

《貧困世帯とその他の世帯の子どもにおける割合》

- 入浴をしない日がある 7.8%：1.6%
- 必要な文具や教材が買えなかったことがある 26.2%：1%
- 相談できる相手がいない（母親回答） 16.4%：5.6%
- 学校がない日の学習をまったくしない 17.5%：6.4%

現状の
課題

- ◇将来に**夢と希望**を持てない子どもの存在
- ◇経済的困難を抱える家庭の子どもの**生活や学習環境**に課題
- ◇すべての子どもが**将来への希望**を持って成長できる環境が必要
- ◇**家庭を支える**ことで、子どもが夢や目標を持てるようにしたい



子どもの居場所創出プロジェクト

- 子どもの居場所支援事業（子ども第三の居場所）
- 子どもの学習支援事業
- 子どもの居場所づくり事業（子ども食堂）
- 子どもの居場所づくりネットワーク事業
- 地域密着型フードパントリー事業



尾道市の3つの子どもの居場所



「子ども第三の居場所」b & g 尾道

- ◆開設 平成29年7月（既存施設改修）常設ケアモデル
- ◆R6年度利用者 小学校1～6年生 16名（定員20名）
- ◆スタッフ 3人
- ◆開設 月～金 11：00～19：00（平日は放課後～19：00）



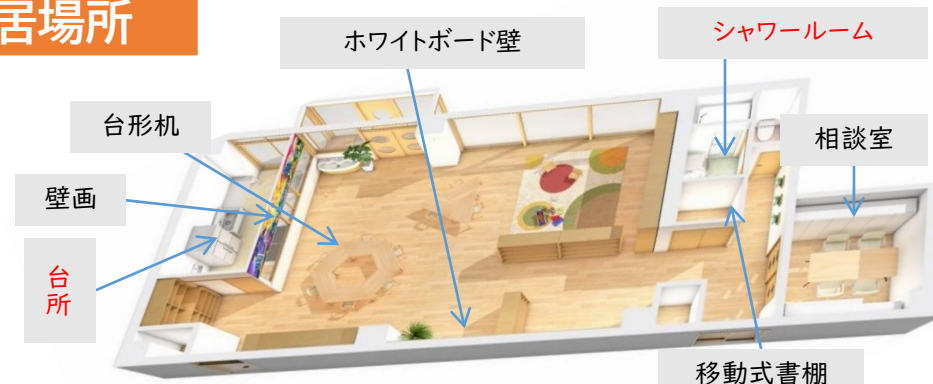
「子ども第三の居場所」子どもの学び舎 向島リーフ

- ◆開設 令和5年2月（一戸建て新築）学習・生活支援モデル
- ◆R6年度利用者 小学校1年生～中学校3年生 28名（定員20名）
- ◆スタッフ 3人（ほか学習支援スタッフ 1人）
- ◆開設 火・水・木曜日 11：00～19：00（平日は放課後～19：00）
土曜日 13：00～17：00



「子ども第三の居場所」b & g 因島

- ◆開設 平成31年2月（一戸建て新築）常設ケアモデル
- ◆R6年度利用者 小学校1～6年生 15名（定員20名）
- ◆スタッフ 5人（加配スタッフを含む）
- ◆開設 月～金 11：00～19：00（平日は放課後～19：00）



- ①子どもは ➡ 家庭的な環境の中、居場所スタッフからの温かい対応により、子どもの自己肯定感が高まり、自分の将来に夢や希望を持つことができるようになる。
また、学習支援や生活支援、体験活動を通じて、将来の自立に必要な力を身に付けることができる。
- ②親は ➡ 子どもへの関わり方や就労についての支援を受け、親子関係の改善や仕事に就くことで生活の安定につながる。
また、親子で過ごす良質な時間を確保することで、子どもの不登校が改善したり、子どもの情緒や生活態度が劇的に改善された事例もある。
- ③地域は ➡ 学校や地域の中で手の届かないところへの支援が期待できることから、子どもの家庭生活への不安が軽減され、地域社会全体の安定が図られる。

夜の広島空港見学ツアー



弁護士と行く裁判所見学



小説の書き方ワークショップ



市立美術館見学



2024夏キッズキャンプ



企業様のメリット

- SDGs・社会貢献（PR）
- 企業ブランドイメージの向上
- 本市ホームページへの掲載
- 感謝状の贈呈 など

